

# 「北陸地域ICTイノベーションセミナー2020」を開催

～ 令和2年度 SCOPE 研究成果発表会 ～



NTTサービスイノベーション総合研究所  
所長 川村 龍太郎 氏

総務省北陸総合通信局（局長 三田 一博）は、12月4日に金沢市の北國新聞交流ホールにおいて「北陸地域ICTイノベーションセミナー2020」を開催しました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場への入場者を最小限にとどめるとともに、セミナーをYouTube Liveによりオンラインで配信し、ICT関連企業や研究者など総勢約60名が参加しました。

冒頭、主催者を代表して三田局長から挨拶があり、その後の基調講演では、日本電信電話株式会社 常務理事 サービスイノベーション総合研究所所長 川村 龍太郎氏が「デジタルツインコンピューティング構想について」と題して、デジタルツインコンピューティングの概要や自社の取組、今後の展望などについて講演しました。

続いて、総務省国際戦略局技術政策課 渡邊 真也政策係長による「ICT分野のイノベーション創出に向けた取組」の説明の後、北陸3県でのSCOPEの研究課題について、福井大学教授 岩崎 博道氏が「感染予防管理にIoT/BD/AIを活用し、WHOが推奨する手指衛生を遵守する研究開発」、同大学教授 橘 拓至氏が「オープンソース言語による高信頼・高効率なサービス保証型ネットワークスライシングの研究開発」について、それぞれの研究概要とその成果を発表しました。

なお、それぞれの研究成果のデモンストレーション動画を、令和3年1月末までYouTubeで公開しています。

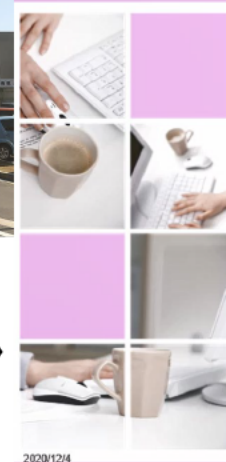
（動画は北陸情報通信協議会ホームページの以下のリンクから閲覧できます。）

[https://hokurikutelecom.jp/seminar\\_innova.html](https://hokurikutelecom.jp/seminar_innova.html)



「感染予防管理にIoT/BD/AIを活用し、WHOが推奨する手指衛生を遵守する研究開発」

「オープンソース言語による高信頼・高効率なサービス保証型ネットワークスライシングの研究開発」



動画デモ

オープンソース言語による  
高信頼・高効率な  
サービス保証型  
ネットワークスライシングの  
研究開発

橘 拓至(福井大学)  
平田 孝志(関西大学)

2020/12/4

北陸地域ICTイノベーションセミナー2020

1